



主張するセルフ・アドボケートたち

No.20

第1回「日本ダウン症会議」での分科会発表者⑤

「アドボケート」(advocate)とは、障害関連では、権利擁護のための活動を支援する人、擁護する人、代弁する人を意味します。この企画では、「セルフ・アドボケート」=ダウン症のある本人たち自ら、自分の言葉で、現在の生活についてや思いを伝えていただきます。

「しょうらいの夢」 五十嵐^{ゆい}結香 (17歳・新潟県)

- ・わたしは、たくさん人がいると緊張して不安になります
今日も とても 緊張しています
- ・卒業したら 女の子が多い作業所で、お仕事をしたいです
- ・がしがしとたくさん、お仕事をしたいです
- ・働いてお金を、もらいたいです
- ・働いて、もらった お金で大好きなクラスメートとディズニーランドに行きたいです
- ・卒業してもクラスメートと、ずっと仲良く友だちでいたいです
- ・お父さん、お母さんと、ずっと一緒にいたいです。だけど、ひとり暮らしもしてみたいです
- ・わたしの赤ちゃんを産んで育ててみたいです
- ・すてきな社会人になりたいです



プロフィールと現在の思い
2000年生まれの17歳。
五十嵐結香です。新潟大学教育学部附属特別支援学校、高等部3年です。
お父さん、お母さんと家族3人、新潟で暮らしています。好きな食べ物はカレーです。好きな色は黒です。カラオケが大好きです。「いきものがかり」とか「パフューム」を歌います。学校では落ち着いて過ごしています。保健体育の時間が好きです。ビーチボールとか風船でソフトバレーをします。とても楽しいです。放課後、1カ月に1回の「すなやまクラブ」に行ったり、アフタースクールでアフリカの太鼓をたたいたりしています。お家では、お米をといたり、お風呂洗いの手伝いをしています。タオルを、たたむお手伝いもします。もうすぐ職場実習です。落ち着いて実習先で仕事を頑張ります。卒業して社会人になってたくさん働きたいです。

発表した感想

「緊張したけど楽しかった～
発表できて嬉しかった～」

中学になった頃より人前で発表する機会がなくなり残念に思っていたようです。過敏なところがあり、不登校気味になったり、他害が続いたり、フラッシュバックで辛い時期もありましたが、東京で発表させていただいたことが良い思い出と自信となりました。

(母・五十嵐 英子)

ご本人の発言、募集中!

● 昨年の「日本ダウン症会議」分科会発表者からの掲載は、今回が最終回ですが、今後もJDSニュースの中で、思いを語ってくださる方を募集しています。文章でも画像でも、書式は自由です。
● JDS事務局までご連絡ください。